



# 安全データシート (SDS)

## 1. 化学品及び会社情報

昭和化学株式会社  
 東京都中央区日本橋本町4-3-8  
 担当  
 TEL(03)3270-2701  
 FAX(03)3270-2720  
 緊急連絡 同上  
 改訂日 2023/11/14  
 SDS整理番号 20005840

製品等のコード : 2000-5840  
 製品等の名称 : タンタル標準液 (1,000ppm)  
 推奨用途 : 分析試薬 (原子吸光分析用)  
 使用上の制限 : 推奨用途以外の用途へ使用する場合は化学物質専門家等の判断を仰ぐこと



## 2. 危険有害性の要約

### GHS分類

物理化学的危険性  
 引火性液体  
 自然発火性液体  
 自己発熱性化学品  
 酸化性液体  
 金属腐食性化学品

: 区分に該当しない  
 : 区分に該当しない  
 : 区分に該当しない  
 : 区分に該当しない  
 : 区分1

健康に対する有害性  
 急性毒性 (吸入: 蒸気)  
 皮膚腐食性/刺激性  
 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性  
 皮膚感受性  
 生殖細胞変異原性  
 特定標的臓器毒性 (単回ばく露)  
 特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

: 区分に該当しない  
 : 区分1  
 : 区分1  
 : 区分1  
 : 区分2  
 : 区分2 (呼吸器、脾臓)  
 : 区分2 (骨、歯、下垂体、甲状腺、腎臓、神経系、  
 肝臓、精巣、気管支)

環境に対する有害性  
 水生環境有害性 短期 (急性)

: 区分に該当しない

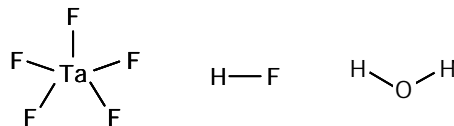
注意喚起語 : 危険

### 危険有害性情報

金属腐食のおそれ  
 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷  
 重篤な眼の損傷  
 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ  
 遺伝性疾患のおそれの疑い  
 呼吸器、脾臓の障害のおそれ  
 長期又は反復ばく露による骨、歯、下垂体、甲状腺、腎臓、神経系、肝臓、精巣、気管支の障害のおそれ

### 注意書き

【安全対策】  
 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
 他の容器に移し替えないこと。



粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

取扱い後は、よく手を洗うこと。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

【応急措置】

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせない。

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。

皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。直ちに医師に連絡すること。

グルコン酸カルシウム2.5～10%含有ゲル(ゼリー)があれば、適量を患部によくすり込む。

眼に入った場合：水で15分以上注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に

外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。

気分が悪い時は、医師の診察、手当を受けること。

皮膚刺激又は発疹が生じた場合：医師の診察、手当を受けること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること。

【保管】

耐腐食性/耐腐食性内張りのある容器の保管すること。

直射日光を避け、容器を密閉し冷暗所に施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

(注) 物理化学的危険性、健康に対する有害性、環境に対する有害性に関し、上記以外の項目は、現時点で「区分に該当しない(分類対象外も該当)」又は「分類できない」である。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	:	混合物 (ふっ化タンタル、ふっ化水素、水)
化学名、製品名	:	タンタル標準液 (1,000ppm) [TaF5 in 1mol/L HF] (英名) Tantalum Standard Solution
成分および含有量	:	ふっ化タンタル、0.1525 w/v% (Taとして1000ppm、Fとして0.0525w/v%) ふっ化水素、2.001 w/v% (Fとして1.900w/v%) 水、残部
化学式および構造式	:	総ふっ素 (F) 含量 = 0.0525% + 1.900% = 1.9525% (約2.0%) TaF5 HF H2O ～ の構造式は上図参照(1ページ目)
分子量	:	275.94 (Ta : 180.948) 20.01 18.02
官報公示整理番号 (化審法)	:	(1)-690 (1)-306
CAS NO	:	既存化学物質 7783-71-3 7664-39-3 7732-18-5
危険有害成分	:	ふっ化水素

4. 応急措置

吸入した場合	:	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。 気分が悪い時は、医師の手当を受ける。
皮膚に付着した場合	:	直ちに医師に連絡する。 直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐ。 皮膚を流水又はシャワーで洗う。 グルコン酸カルシウム2.5～10%含有ゲル(ゼリー)があれば、適量を患部によくすり込む。 汚染された作業衣は作業場から出さない。 汚染された衣類を再使用する前に洗濯する。
目に入った場合	:	直ちに医師に連絡する。 直ちに、清浄な水で15分以上注意深く洗う。その際、顔を横に向けてからゆっくりF水を流す。水道の場合、弱い流れの水で洗う。勢いの強い水で洗浄すると、かえって目に障害を起こすことがあるので注意する。 まぶたを親指と人さし指で拡げ眼を全方向に動かし、眼球、まぶたの隅々まで水がよく行き渡るように洗浄する。 次に、コンタクトレンズを着用していて固着していなければ除去し、

洗淨を続ける。  
 眼の洗淨が遅れたり、不十分の場合は、眼の障害のおそれがある。  
 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、治療を受ける。  
 飲み込んだ場合 : 口をすすぎ、うがいをする。無理に吐かせてはいけない。  
 吐かせると再びのどや食道を通り二重に刺激・損傷を受けることになる。  
 直に牛乳や卵を飲ませて毒性を希釈する。  
 牛乳、卵がない時は、コップ数杯の水を飲ませ、体内で毒性を薄める。  
 意識がない時は、何も与えない。もし、嘔吐が自然に生じた時は、気管  
 への吸入が起きないように、頭を尻より下に身体を傾斜させ、肺への還流  
 を防ぐ。嘔吐後、意識が戻れば、水を飲ませる。体の保温に努め、速や  
 かに医師の診察を受ける。  
 気分が悪い時は、医師の診断、治療を受ける。  
 予想される急性症状及び遅発性症状 : 情報なし  
 参考【ふっ化水素酸のデータ】  
 急性症状 :  
 灼熱感、咳、息苦しさ、咽頭痛、胃痙攣、下痢、嘔吐、虚脱、  
 発赤、痛み、水疱、重度の熱傷。  
 遅発性症状 :  
 肺水腫、心不全、腎不全

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 本品は不燃性である。  
 周辺火災に適した消火剤を使用する。  
 粉末消火剤、二酸化炭素、散水、噴霧水、一般の泡消火剤など  
 使ってはならない消火剤 : 棒状放水（本品があふれ出し、生物に対する有害性や環境汚染を引き  
 起こすおそれがある。）  
 特有の危険有害性 : 火災により、刺激性又は毒性のガスを発生するおそれがある。  
 特有の消火方法 : 危険でなければ火災区域から容器を移動する。  
 火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。  
 環境への流出をできるだけ防止する。  
 消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、空気呼吸器を含め完全な防護服（耐熱性）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 漏洩区域は、関係者以外の立入りを禁止する。  
 漏洩エリア内に立入る時は、保護具を着用する。  
 風上から作業し、ミスト、蒸気、粉じんなどを吸入しない。  
 密閉された場所に立入る時は、事前に換気する。  
 環境に対する注意事項 : 河川、下水道、土壌に排出されないように注意する。  
 回収、中和 : 少量の場合、漏出物を消石灰等のアルカリ水溶液を加えて中和処理し、  
 大量の水を用いて洗い流す  
 封じ込め及び浄化の方法・機材 : 危険でなければ漏れを止める。  
 二次災害の防止策 : 周辺の発火源を速やかに取除く。  
 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い  
 技術的対策 : 本製品を取扱う場合、必ず保護具を着用する。  
 ミスト、蒸気などの発生を防止する。  
 容器をよく振った後、開封して使用する。  
 開封した場合は、なるべく早く使い切る。  
 使用した標準液は、元の容器に戻さない(濃度が変化するおそれがあるため)。  
 局所排気・全体換気  
 安全取扱い注意事項 : 換気装置を設置し、局所排気又は全体換気を行なう。  
 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わない。  
 ミスト、蒸気などを吸入しない。  
 皮膚、粘膜等に触れると、炎症を起こす。  
 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。  
 取扱い後はよく手を洗う。  
 接触回避 : 湿気、水、高温体との接触を避ける。  
 保管  
 技術的対策 : 使用する時は、容器をよく振ってから使用する。  
 容器を開封すると、保管条件により本製品のファクターが変動すること  
 があるので、開封した場合は、なるべく早く使い切る。  
 保管場所は、製品が汚染されないよう清潔にする。  
 混触危険物質 : 特になし  
 保管条件 : 容器は直射日光を避け、冷暗所に保管する。

一定の場所を定めて、施錠して保管する。  
 貯蔵する所には、赤地に白文字で「医薬用外毒物」の表示を行う。  
 混触危険物質、食料、飼料から離して保管する。

容器包装材料 : ポリエチレン、ポリプロピレン、ガラスなど

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度 : 0.5ppm (ふっ化水素)  
 許容濃度 (ばく露限界値、生物学的ばく露指標) :  
 日本産衛学会 3ppm 2.5mg/m<sup>3</sup> (最大許容濃度) (HFとして)  
 ACGIH TLV-STEL 2ppm (フッ素として) (最大許容濃度)  
 TLV-TWA 0.5ppm  
 設備対策 : この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを  
 設置する。  
 取扱場所には局所排気又は全体換気装置を設置する。  
 保護具  
 呼吸器の保護具 : 呼吸用保護具 (保護マスクなど) を着用する。  
 手の保護具 : 保護手袋 (塩化ビニル製、ニトリル製など) を着用する。  
 眼の保護具 : 保護眼鏡 (普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型) を着用  
 する。  
 皮膚及び身体の保護具 : 長袖作業衣を着用する。  
 衛生対策 : 必要に応じて保護面、保護長靴を着用する。  
 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。  
 取扱い後はよく手を洗う。  
 作業衣を家に持ち帰ってはならない。  
 保護具は保護具点検表により定期的に点検する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態  
 性状 : 液体  
 色 : 無色澄明  
 臭い : わずかに刺激臭  
 pH : 強酸性  
 融点 : データなし  
 凝固点 : データなし  
 沸点 : データなし  
 引火点 : データなし  
 可燃性 : 不燃性  
 爆発範囲 : データなし  
 蒸気圧 : データなし  
 相対ガス密度 (空気 = 1) : データなし  
 密度又は相対密度 : データなし  
 比重 : データなし  
 溶解度 : 水に混和。エタノールに混和。  
 オクタノール/水分係数 : データなし  
 発火点 : データなし  
 分解温度 : データなし  
 粘度 : データなし  
 動粘度 : データなし  
 粒子特性 : データなし  
 GHS分類  
 引火性液体 : 本品は水溶液で不燃性であることから、区分に該当しないとした。  
 自然発火性液体 : 本品は水溶液で不燃性であることから、区分に該当しないとした。  
 自己発熱性化学品 : 本品は水溶液で不燃性であることから、区分に該当しないとした。  
 水反応可燃性化学品 : 本品は水溶液で安定である (水との混触で可燃性ガスの発生がない)  
 ことから、区分に該当しないとした。  
 金属腐食性化学品 : 金属腐食のおそれ (区分1)

10. 安定性及び反応性

安定性 (反応性・化学的安定性)  
 : 通常の取扱い条件において安定である。  
 危険有害反応可能性 : 水溶液は強酸性であり、強塩基と激しく反応する。  
 多くの金属に腐食性を示す。  
 金属との接触により引火性の水素ガスを生成することがある。  
 金属、ガラス、コンクリートを侵す (フッ化水素)。  
 避けるべき条件 : 高温、日光  
 混触危険物質 : 塩基、金属、ガラス、コンクリートとの接触  
 危険有害な分解生成物 : 強熱分解すると、ハロゲン化物を生成する。

11. 有害性情報

【本製品の情報が無いので、ふっ化タンタル、ふっ化水素、水の混合物としてGHS分類】

- 急性毒性 : 経口 分類できない。  
経皮 分類できない。  
吸入(蒸気) 区分に該当しない。  
吸入(ミスト) 分類できない。
- 皮膚腐食性/刺激性 : pH2以下の成分(HF)が1%以上含有されているので、GHS分類基準に従い、区分1とした。安全性を考慮し細分類は、区分1とした。  
重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷(区分1)
- 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : pH2以下の成分(HI)が1%以上含有されているので、GHS分類基準に従い、区分1とした。  
重篤な眼の損傷(区分1)
- 呼吸器感作性 : 分類できない。
- 皮膚感作性 : 区分1とした。  
アレルギー皮膚反応を起こすおこれ(区分1)
- 生殖細胞変異原性 : 区分2とした。  
遺伝性疾患のおそれの疑い(区分2)
- 発がん性 : 分類できない。
- 生殖毒性 : 分類できない。
- 特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : 区分2(呼吸器、脾臓)とした。  
呼吸器、脾臓の障害のおそれ(区分1)
- 特定標的臓器毒性 (反復ばく露) : 区分2(骨、歯、下垂体、甲状腺、腎臓、神経系、肝臓、精巣、気管支)とした。  
長期又は反復ばく露による骨、歯、下垂体、甲状腺、腎臓、神経系、肝臓、精巣、気管支の障害のおそれ(区分1)
- 誤えん有害性 : 分類できない。

参考【ふっ化水素酸のデータ】

- 急性毒性 : 経口 ヒト(男) TDLo = 143 mg/kg  
モルモット TDLo = 100 mg/kg  
飲み込むと有毒(経口)(区分3)  
経皮 マウス LDLo = 500 mg/kg  
分類できない。  
吸入(蒸気) ラット LC50 = 650ppm/4H  
吸入すると有毒(蒸気)(区分3)  
吸入(ミスト) 分類できない。
- 皮膚腐食性/刺激性 : 動物を用いた眼刺激性試験及びヒトへの健康影響で、皮膚腐食性が認められている。またウサギを用いた5%水溶液の4時間適用試験の14日間の観察で力皮がみられている。  
重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷(区分1)
- 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 動物を用いた眼刺激性試験及び高濃度全身吸入ばく露の事故報告で、非可逆的作用を示した。  
重篤な眼の損傷(区分1)
- 呼吸器感作性又は皮膚感作性 : 呼吸器感作性: 分類できない。  
皮膚感作性: 職業的にばく露されたヒトにおいて、アレルギー性皮膚炎がみられている。  
アレルギー皮膚反応を起こすおこれ(区分1)
- 生殖細胞変異原性 : 経世代変異原性試験なし、生殖細胞 in vivo 変異原性試験なし、体細胞 in vivo 変異原性試験(染色体異常試験)で陽性、生殖細胞 in vivo 遺伝毒性試験なし。  
遺伝性疾患のおそれの疑い(区分2)
- 発がん性 : 分類できない。  
知見データがなく、産衛学会やIARC、ACGIH、NTP、EPA、OHSАの国際評価機関の報告がないため、分類できないとした。
- 生殖毒性  
特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : ヒトで、気道や肺の損傷、鼻粘膜への刺激性、眼結膜や気道への刺激性(EU-RAR No.8 (2001))、肺水腫、肺の出血性水腫、気管支炎、脾臓の出血及び壊死(CERIハザードデータ集 2001-46 (2002))、実験動物で、呼吸器の炎症、肺のうっ血、肺胞の水腫、鼻腔粘膜の損傷(上皮及び粘膜下組織の壊死、炎症細胞浸潤、滲出液、出血)が報告されてい

- る(CERIハザードデータ集 2001-46 (2002))。  
 以上のことから、区分1 (呼吸器、臍臓) とした。  
 呼吸器、臍臓の障害 (区分1)
- 特定標的臓器毒性 (反復ばく露) : ヒトで、骨へのフッ素沈着症 (骨密度の増加、骨の形態的变化、外骨 (腫) 症)、斑状歯、記憶の喪失、下垂体から甲状腺の機能異常)、実験動物で、腎臓の尿細管の変性及び壊死、中枢神経系の機能不全 (条件反射の低下、刺激後、運動神経反射が起こるまでの潜時の延長)、神経細胞シナプスの変化、肝臓の散在性の巣状壊死、肝実質の脂肪変性、門脈周囲の線維化、陰嚢上皮の炎症、陰嚢の潰瘍、精巣の退行性変化が報告されている (CERIハザードデータ集 2001-46 (2002))。標的臓器は骨、歯、下垂体、甲状腺、腎臓、神経系、肝臓、精巣、気管支と考え、区分1とした。  
 長期又は反復ばく露による骨、歯、下垂体、甲状腺、腎臓、神経系、肝臓、精巣、気管支の障害 (区分1)
- 誤えん有害性 : 分類できない。

12. 環境影響情報

【本製品の情報が無いので、ふっ化タンタル、ふっ化水素、水の混合物としてGHS分類】

- 生態毒性  
 水生環境有害性 短期 (急性) : 区分に該当しない。  
 水生環境有害性 長期 (慢性) : 区分に該当しない。  
 残留性・分解性 : データなし  
 生物蓄積性 : データなし  
 土壤中の移動性 : データなし  
 オゾン層への有害性 : 本品はモントリオール議定書の附属書にリストアップされていないため、分類できないとした。

参考【ふっ化水素酸のデータ】

- 生態毒性  
 水生環境有害性 短期 (急性) : 甲殻類 (ミシッドシュリンプ) EC50=10.5mg/L/96H  
 甲殻類 (オオミジンコ) NOEC=14.1mg/L/21日  
 水生生物に有害 (区分3)  
 水生環境有害性 長期 (慢性) : 分類できない。  
 残留性・分解性 : データなし  
 生物蓄積性 : データなし  
 土壤中の移動性 : データなし  
 オゾン層への有害性 : 本品はモントリオール議定書の附属書にリストアップされていないため、分類できないとした。

13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 関連法規ならびに地方自治体の基準に従って廃棄する。  
 都道府県知事などの許可 (収集運搬業許可、処分業許可) を受けた産業廃棄物処理業者に、産業廃棄物管理票 (マニフェスト) を交付して廃棄物処理を委託する。  
 廃棄物の処理にあたっては、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。  
 必要に応じて、廃棄の前に可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。  
 本製品は特別管理産業廃棄物に該当するため、廃棄においては特に「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の特別管理産業廃棄物処理基準に従うこと。  
 (参考) 沈殿法  
 消石灰水溶液に混合して中和する。沈殿物はろ過して埋立て処分する。中和時のpHは、8.5以上とすること。  
 これ以下では、完全に沈殿生成しない。
- 汚染容器及び包装 : 内容物により汚染された容器及び包装材は、関連法規の基準に従って適切に処分する。  
 空容器を廃棄する場合は、内容物を除去した後、産業廃棄物処理業者に処理を委託する。

14. 輸送上の注意

- 緊急時応急処置指針番号 : 157
- 国際規制  
 海上規制情報 (IMO/IMDGコードの規定に従う)

UN No. : 1790  
 Proper Shipping Name : HYDROFLUORIC ACID solution, with not more than 60% hydrofluoric acid  
 Class : 8 (腐食性物質)  
 Sub Risk : 6.1 (毒物)  
 Packing Group : II  
 Marine Pollutant : No (非該当)  
 Limited Quantity : 1L  
 航空規制情報 (ICAO-TI/IATA-DGRの規定に従う)  
 UN No. : 1790  
 Proper Shipping Name : Hydrofluoric acid solution, with not more than 60% hydrofluoric acid  
 Class : 8  
 Sub Risk : 6.1  
 Packing Group : II

国内規制

陸上規制情報 (毒物劇物取締法、道路法の規定に従う)  
 海上規制情報 (船舶安全法/危険物船舶輸送及び貯蔵規則/船舶による危険物の運送基準等を定める告示に従う)

国連番号 : 1790  
 品名 : フッ化水素酸 (フッ化水素酸の濃度が60質量%以下のものに限る。)  
 クラス : 8  
 副次危険 : 6.1  
 容器等級 : II  
 海洋汚染物質 : 非該当  
 MARPOL73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送の有害液体物質の汚染分類 : 非該当

少量危険物許容量 : 1L  
 航空規制情報 (航空法/航空法施行規則/航空機による爆発物等の輸送基準を定める告示に従う)

国連番号 : 1790  
 品名 : フッ化水素酸 (酸の濃度が60質量%以下のもの)  
 クラス : 8  
 副次危険 : 6.1  
 容器等級 : II  
 少量輸送許容量 : 0.5L

特別の安全対策 : 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。  
 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。  
 重量物を上積みしない。  
 車輛等による運搬の際にはイエローカードを運搬人に保持させる。

15. 適用法令

労働安全衛生法 : 名称等を表示すべき危険物及び有害物 (政令番号 第487号「弗素及びその水溶性無機化合物を1%以上含有するもの」)  
 名称等を通知すべき危険物及び有害物 (政令番号 第487号「弗素及びその水溶性無機化合物を0.1%以上含有するもの」)  
 (別表第9)  
 化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)  
 : 種別 「第1種指定化学物質」  
 : 政令番号 「1-414」〔ただし、R5年3月31日まで「1-374」〕  
 : 管理番号 「374」  
 : 物質名称 「フッ化水素及びその水溶性塩を1%以上含有するもの」  
 消防法 : 非該当  
 毒物劇物取締法 : 毒物「弗化水素を含有する製剤」(政令第1条第24号)、  
 包装等級  
 船舶安全法 : 腐食性物質 (危規則第2, 3条危険物告示別表第1)  
 航空法 : 腐食性物質 (施行規則第194条危険物告示別表第1)  
 大気汚染防止法 : 有害物質「弗素、弗化水素及び弗化珪素」(政令第1条第3号)  
 特定物質「弗化水素」(政令第10条第2号)  
 有害大気汚染物質「フッ化物(水溶性無機化合物に限る)」  
 (中環審第9次答申の194)  
 水質汚濁防止法 : 有害物質 (施行令第2条)  
 「フッ素及びその化合物」

- 〔排水基準〕8mg/L(F, 海域以外), 15mg/L(F, 海域)
- 土壌汚染対策法 : 第2種特定有害物質(政令第1条第22号)  
「ふっ素及びその化合物」〔溶出量基準値〕0.8mg/L(F)
- 輸出貿易管理令 : キャッチオール規制(別表第1の16項)  
HSコード: 3822.00  
第38類(各種の化学工業生産品)  
・輸出統計番号(2023年4月版): 3822.00-000  
「理化学用の調製試薬」  
・輸入統計番号(2023年4月1日版): 3822.00-000  
「理化学用の調製試薬」

16. その他の情報

(注) 本品を試験研究用以外には使用しないで下さい。

取扱注意事項:

本製品の取扱いは毒物劇物取締法の規定に従い、購入、保管、使用及び廃棄には細心の注意を払うこと。毒物劇物取扱等の責任者は、必要に応じ取扱う者に対し労働安全衛生、漏洩防止、緊急時の対応、環境影響、使用記録、保管庫施設、紛失盗難防止などについて教育、訓練を実施し、事故の予防に努めること。

- 参考文献 : 化学物質管理促進法PRTR・MSDS対象物質全データ 化学工業日報社  
労働安全衛生法MSDS対象物質全データ 化学工業日報社(2007)  
化学物質の危険・有害便覧 中央労働災害防止協会編  
化学大辞典 共同出版  
安衛法化学物質 化学工業日報社  
産業中毒便覧(増補版) 医歯薬出版  
化学物質安全性データブック オーム社  
公害と毒・危険物(総論編、無機編、有機編) 三共出版  
化学物質の危険・有害性便覧 労働省安全衛生部監修  
Registry of Toxic Effects of Chemical Substances NIOSH CD-ROM  
GHS分類結果データベース nite(独立行政法人 製品評価技術基盤機構) HP  
GHSモデルMSDS情報 中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター HP

このデータは作成の時点における知見によるものですが、必ずしも十分ではありませんし、何ら保証をなすものではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。なお、この安全データシート(SDS)はJIS Z 7253:2019に準じて作成しています。